

1 明るい家庭



●大分市人権フォトコンテスト最優秀賞「じいじと一緒に」

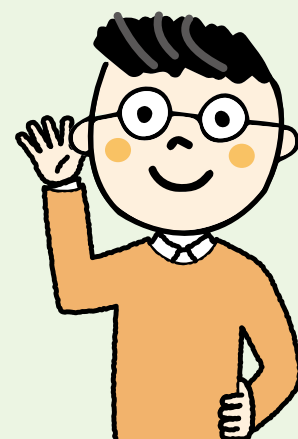
1 よりよい家庭を願って

家庭とは、生活のもとになる場であり、家族みんなのいこいの場です。
なんでも話し合い、おたがいが深い愛情や信頼^{あいじょう しんらい}で結ばれることが大切です。

お父さんのお話

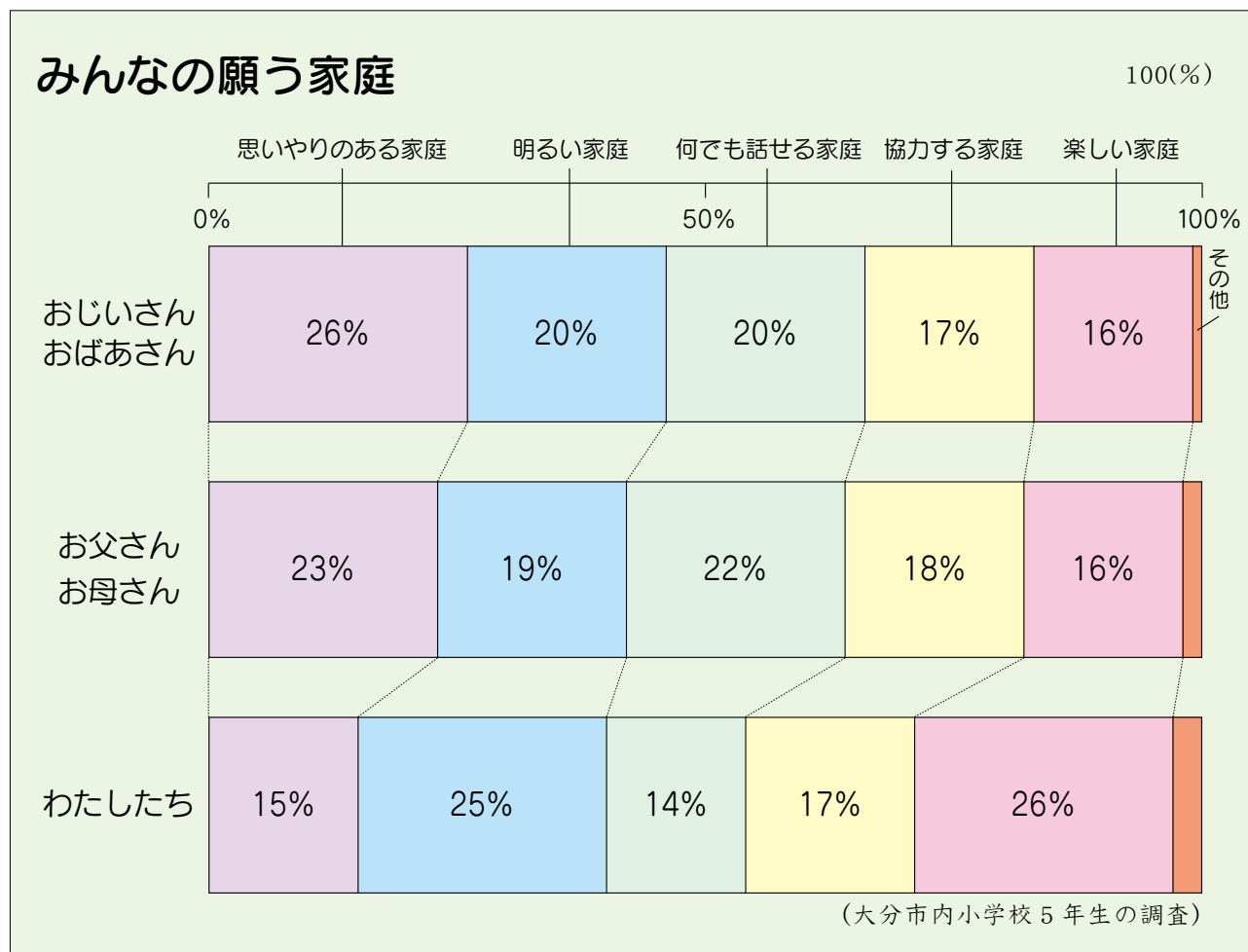
家族のみんながいつまでも健康で安心して暮^くらせることがわたしの願いです。そして、家族の一人ひとりが、思いやりの心をもって助け合える家庭になったらいいなと思っています。それには、良かったこと、困^{こま}ったことなど、なんでも話せる明るい家庭になるように努力しなければなりません。

家族みんなが協力すれば、どんなにつらいことも乗り越えていけそうです。

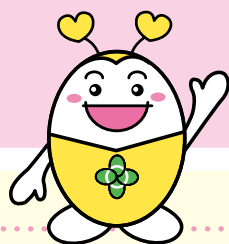


みんなの願い

家族のみんなは、どんな家庭を願っているのでしょうか。大分市内の小学校で次のような調査をしました。



わたしたちが願っている楽しい家庭や明るい家庭は、「思いやりの心」が基本になればならないのではないのでしょうか。家族のみんなが、おたがいを思いやることで、明るく楽しい家庭がつけられていきます。



あなたは、どんな家庭を願っていますか。おうちの人はどうでしょうか。

大分市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
「ふくしのピロロちゃん」

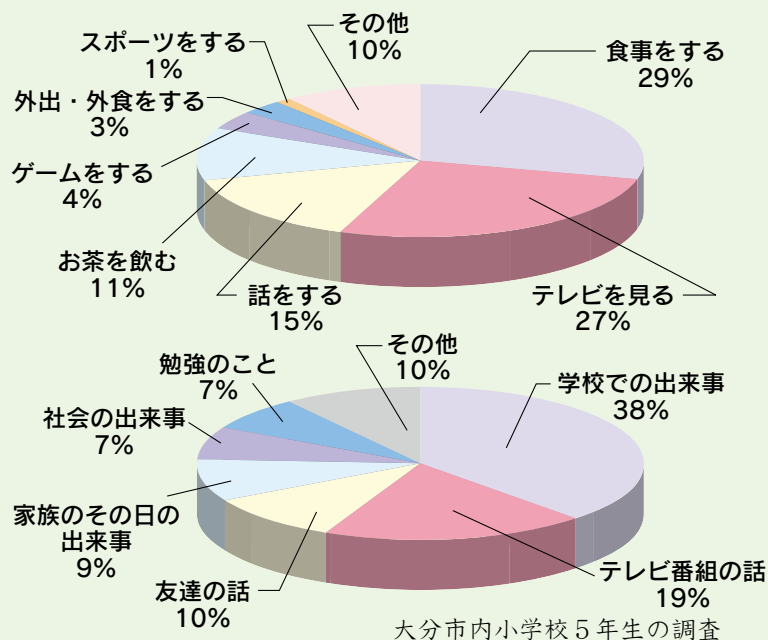
家族のだんらん

家族のみんなが集まってなごやかに過^すごすことで、心のやすらぎが生まれ、
 温かい家庭ができてきます。

だんらんのようす

家族でよくいっしょ
 にすることはどんなこ
 とですか。

家族でよく話すこと
 はどんなことですか。



家庭の日

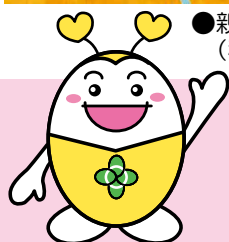


●親子走り方教室
 (植田公民館「家庭の日推進事業」)



●親子陶芸教室
 (大分西部公民館「家庭の日推進事業」)

大分県では毎月第3日曜日を「家
 庭の日」と定めて、家族のふれ合い
 を大切にする取組をしています。



あなたの家庭では、「家庭の日」をどのように過^すご
 していますか。

2 家族の助け合い

明るく楽しい家庭を^{きず}築いていくには、家族みんなが協力し、おたがいに助け合っていくことが大切です。

働くお父さんやお母さんのお話

仕事をして帰ると、一番にすることは、夕食の用意です。外の仕事でとてもつかれているので、少し休みたいけど、家族のみんなのために夕食の用意をします。

他にもする家庭の仕事は多いけど、子どもたちが、^{せん}洗たく物を取り入れてたたんだり、食器洗いをしてくれたりしています。



毎日、仕事はいそがしいけれど、家族のみんなが、家庭の仕事をしてくれるので助かっています。

家庭の仕事で、特にそうじなど日ごろできないところは、家族全員がそろそろ休みの日にします。みんなが協力してくれるので、早く終わり、とてもうれしいです。

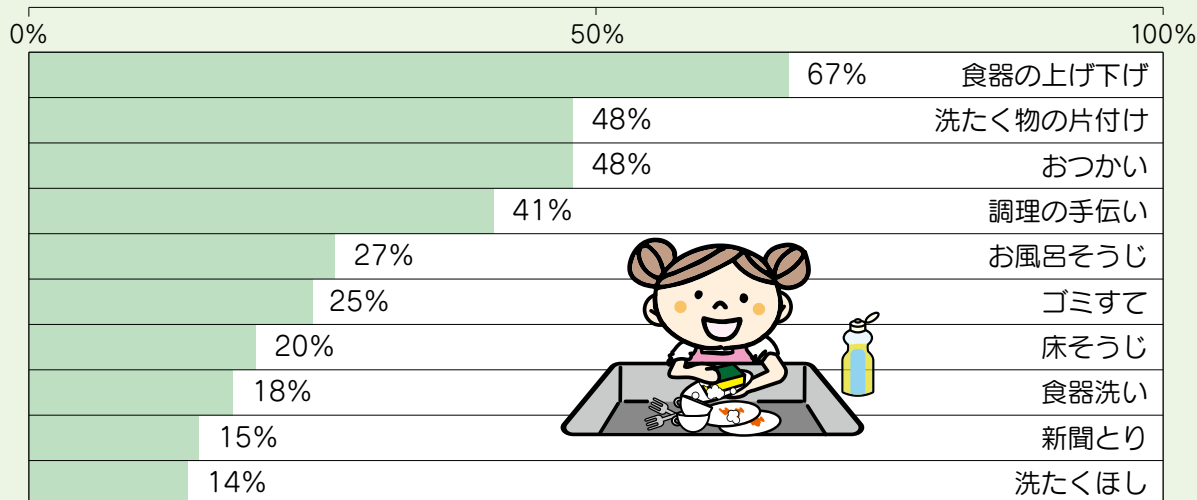
家族の^{やくわり}役割

わたしたちは、家族の一員として、おたがいの立場や役割を知り、家庭の仕事を^{ぶんたん}分担しています。自分ができることは、進んでチャレンジしてみましよう。

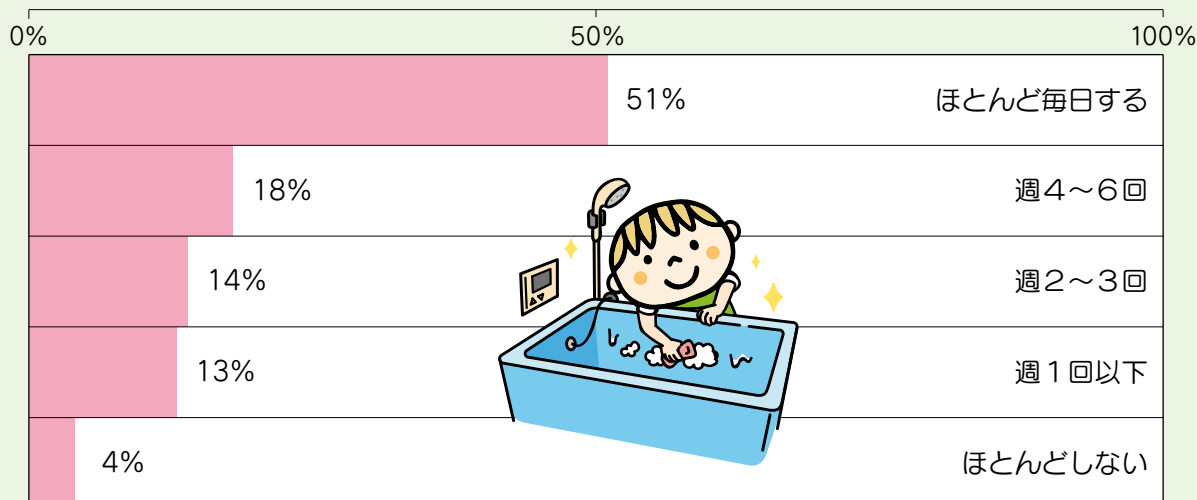
小学生の家庭の仕事

(大分市内小学校5年生の調査)

★どんな家庭の仕事をしていますか

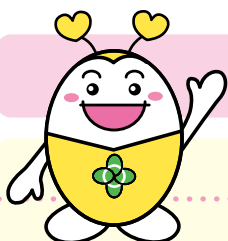


★あなたはどれくらい家庭の仕事をしていますか



家庭の仕事をしている人が多いですね。

家族の役割や家庭の仕事の分担について考え、自分にできる仕事を見つけ、進んで実行しましょう。



自分にできる仕事を見つけましょう。

3 わたしと家族

家庭でのそれぞれの役割^{やくわり}を考えることが、家族のつながりをよりいっそう深め、明るい家庭^{きず}を築くことになります。

お父さんとお母さん

小 2 作文

ぼくのお父さんとお母さんは、耳が聞こえません。小さいときぼくは、「ママ、パパ、どうしてぼくの声が聞こえないの?」と思いました。聞こえないから、「こわいかな?」とも、思いました。

お父さんとお母さんは、手話で話します。ぼくはあんまり手話ができません。だから、ぼくの言っていることがわかっているかどうかふあんになります。

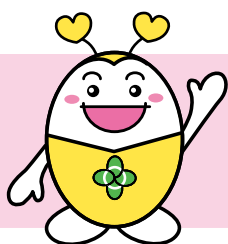
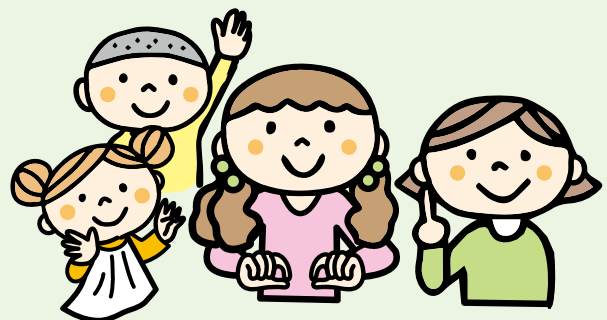
れんらくちょうに、わすれもののことを書いて、「これなに?」って言われたから、手話で言ったけど、わかってくれなかったのでふあんでした。

ぼくは小さいころ、手話ができませんでした。A 兄ちゃんが、いっしょに、手話をしてくれました。

一年生のとき、A 兄ちゃんから、手話を教えてもらいました。あそび、しゅくだい、おかし、ごはん、おはよう、かい物、しごと、じてんしゃが言えるようになりました。手話ができるようになってうれしかったです。

これからもたくさん手話をおぼえたいです。お父さんとお母さんのために、手話つうやくをしてあげたいです。

お父さんやお母さんのともだちも、耳が聞こえません。その人たちともなかよくなりたいから、もっと手話をおぼえていきたいです。



自分の家族を見つめて、明るい家庭をつくるために、あなたはこれから先どんなことができますか。